

《第3版》

# 環境経営レポート



「もっと素敵に、花と緑のある暮らし」



# 会社案内

【ビズ】とは…

フランス語で「頬への軽いキス」という意味。  
軽いキスの様にさりげなく、それでいて幸せになれる。  
そんな空間作りをお手伝いします。

設計・施工  
自社管理

年間施行件数  
550 件

年間550件を超える施工実績、豊富な知識と経験。  
その全てを詰め込んだ、最高のお庭をお届けします。

ヒアリング・測量・設計・施工・アフターケアまで  
全てビズが管理いたします。

素敵な空間を

素敵なお客様のもとへ

株式会社ビズ 一同

# 《 目 次 》 ..... 1

## 会社案内

<b>1. 事業概要</b> .....	2
1) 事業者名及び代表者 .....	2
2) 所在地 .....	2
3) 環境管理責任者 .....	2
4) 連絡先 .....	2
5) 事業活動 .....	2
6) 事業規模 .....	2
7) 対象範囲 .....	2
8) 推進組織 .....	2
<b>2. 環境経営方針</b> .....	3
<b>3. 環境経営目標</b> .....	4
<b>4. 環境経営目標の実績</b> .....	4
<b>5. 環境経営計画と取組評価</b> .....	5
<b>6. 次年度の目標と活動内容</b> .....	6
<b>7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無</b> .....	7
<b>8. 代表者による全体評価と見直しの結果</b> .....	7

# 1. 事業概要

## 1) 事業者名及び代表者名

株式会社 ビズ  
代表取締役 横田 晋作

## 2) 所在地

・本社 〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋83-1  
・資材置場 〒884-0102 宮崎県児湯郡木城町椎木5973-1

## 3) 環境管理責任者

EA-21責任者 : 横田 晋作 (代表取締役)

## 4) 連絡先

連絡担当者 : 横田 晋作 (代表取締役)  
TEL : 0983-23-0113 FAX : 0983-32-2332  
E-mail: shinsaku@bises1995.com

## 5) 事業活動

特定建設業・許可番号 第007596号  
(土木一式工事、建築一式工事、とび・土工工事、管工事、舗装工事、水道施設工事、解体工事、エクステリア、リフォーム工事、給排水施設工事)

## 6) 事業規模

項目	2021年	2022年	2023年
従業員数	30	30	30
工事等の件数	600	546	447
事業所床面積(m <sup>2</sup> )	178	178	178
資材置場面積(m <sup>2</sup> )	769	769	769

## 7) 対象範囲 (全組織・全活動)

- ・対象組織 …… 全社 (本社、資材置場)
- ・対象活動 …… 建設業 (土木一式工事、建築一式工事、舗装工事、解体工事)  
(とび・土工工事、管工事、水道施設工事)
- ・対象期間 …… 2023年8月1日～2024年7月31日
- ・環境経営レポート作成日 …… 2024年10月30日(第3版)

## 8) 推進組織



# 環境経営方針

「もっと素敵に、花と緑のある暮らし」

## 基本理念

株式会社ビズは、事業活動が与える環境負荷をしっかりと認識し、環境負荷の削減などの環境保全活動を行うことは重要な社会的責任であり事業活動の重要課題と位置づけて、全社員一丸となって環境負荷の削減に取り組み、持続可能な社会の構築に努めます。

## 基本方針

- 1, 環境経営に積極的に取り組む為、EA21マネジメントシステムを構築して、環境経営の継続的改善に努めます。
  - 2, 事業活動に関連する法令・条例・その他、地域との取決め事項等を遵守します。
  - 3, 事業活動から発生する以下の環境負荷を重点項目として、優先的に取り組みます
    - ①. 電力・化石燃料などの消費量節減による、二酸化炭素排出量の削減
    - ②. 事業所や建設現場で発生する廃棄物の削減とリサイクル推進
    - ③. 節水活動などによる水資源使用量の削減
  - 4, 新技術活用や創意工夫により効率的施工、且つ安全や環境に配慮した施工に努めます。
  - 5, 環境活動等の地域貢献活動に積極的に参加します。
- 以上は全従業員へ周知し、環境経営レポートで積極的に公表します。



制定 2022年 8月 1日  
株式会社 ビズ  
代表取締役 横田 晋作

### 3. 環境経営目標

過去1年間の環境負荷及び環境への取組みの自己チェックから、3ヶ年中期目標値を設定しました。

取組み項目 (目標項目)(単位)		実施区	第一次中期目標			
			基準値 (2021年8月～ 2022年7月)	2022年度 (2022年8月～ 2023年7月)	2023年度 (2023年8月～ 2024年7月)	2024年度 (2024年8月～ 2025年7月)
二酸化炭素排出量の削減(kg-CO <sub>2</sub> )		全社	159,187	158,391	157,596	156,800
1 ・ エ ネ ル ギ ー	①電力使用量の削減 (kWh)	本社	13,424	13,357	13,290	13,223
		木城	7,118	7,082	7,047	7,011
		全社	20,542	20,439	20,337	20,234
②ガソリン使用量の削減 (L)		全社	21,184	21,078	20,972	20,866
③軽油使用量の削減 (L)		現場	38,830	38,635	38,441	38,247
2 廃 棄 物	①一般廃棄物最終処分量の削減 (kg)	本社	未計量	分別計量 (382.5)	2020年比1%削減 380.6	2020年比2%削減 378.7
	②建設副産物の再資源化率向上	現場	95%	再資源化率95%以上		
3. 水資源使用量の抑制 (m <sup>3</sup> )				基準比0.5%削減	基準比1.0%削減	基準比1.5%削減
		本社	69.0	68.7	68.3	68.0
		木城	160.0	159.2	158.4	157.6
		全社	229.0	227.9	226.7	225.6
4. 自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善		全社	環境経営計画の実施状況を目標としています			
5. 地域貢献活動への積極参加 (回)		全社	3回以上/年			

\* 建設副産物の再資源化率は再資源化量÷総排出量×100

\* 地域貢献活動とは、環境ボランティア活動等への参画を目標とします。

### 4. 環境経営目標の実績

\* 2023年8月から2024年7月までの1年間の実績は以下の通りです。

取組み項目		実施区	目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		全社	157,596	139,587	112.9%	○
エ ネ ル ギ ー	①電力使用量の削減 (kWh)	本社	13,290	14,532	91.5%	○
		木城	7,047	8,227	85.7%	△
		全社	20,337	22,759	89.4%	△
②ガソリン使用量の削減 (L)		全社	20,972	18,348	114.3%	○
③軽油使用量の削減 (L)		現場	38,441	33,370	115.2%	○
廃 棄 物	①一般廃棄物の削減 (kg)	本社	380.6	300.7	126.6%	○
	②建設副産物の再資源化率向上 (%)	現場	95%以上	100.0% (217.2t)	105.3%	○
3. 水資源使用量の抑制 (m <sup>3</sup> )		本社	68.3	61.0	112.0%	○
		木城	158.4	167.0	94.9%	○
		全社	226.7	228.0	99.4%	○
4. 自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善		全社	活動計画の遵守	活動計画の遵守	—	○
5. 地域貢献活動への積極参加		全社	3回/年	3	100.0%	○

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の調整後排出係数0.480を使用しています。

\* 現場の電気や灯油使用量等を含めた全社の二酸化炭素総排出量は、140,704.8 kg-CO<sub>2</sub>です。

\* 評価・・・○=達成率90%以上、△=達成率80%以上、×=達成率80%未満

## 5.環境経営計画と取組評価

取組項目	活動内容	取組結果	評価
・電気使用量の削減	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯する	不在時等の消灯やエアコンの使用を極力控えて節電を図ったが、本社及び木城(作業場)では、冬場の暖房用と年度末の事務作業増加等でエアコン使用が多くなり、それぞれ未達成となっており、全社合計で89.4%達成率	○
	②空調の適温化 〔冷房28℃程度、暖房22度程度〕		○
	③照明器具やエアコンフィルターの定期清掃		○
・ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 (アイドリングストップ、急発進及び空ぶかし防止)	エコドライブや現場への相乗り、忘れ物が無いようにするなど徹底して省エネを図った結果、現場数が少なかった事などもあって114.3%の目標達成となった。	○
	②現場への相乗りを推進する		○
	③段取り良い前準備で忘物をなくし、折返し運行の撲滅。		○
・軽油使用量の削減	①重機類は始業前点検を実施する	期間中は基準年に比べて重機作業が少なかった事と工事件数が少なかった事などで、軽油消費量が減少して115.2%の目標達成となった。始業前点検やこまめなエンジンストップ等も徹底している。	○
	②建設機器は、使用しない時はこまめにエンジンをストップする		○
	③ダンプトラックや重機はエコドライブを徹底する		○
・一般廃棄物の削減	①コピー用紙は裏紙使用や両面、縮小、集約コピーを努める	コピー用紙の節減を主な活動として実施しているが、裏紙使用や縮小・両面コピー等を推進して、焼却となる本社の排出量は300.7kgで126.6%の目標達成。	○
	②トナーカートリッジや用紙梱包箱などは納入業者に持ち帰ってもらう		○
・建設副産物の再資源化率の向上	①資材発注時は仕様書を再チェックして在庫の確認を行い残余材発生抑制	現場発生した廃棄物をできるだけ抑えるため、残余材の発生防止は重要事項と位置付けて取り組み、残余材の発生は無かった。尚、期間中はアスコン塊とコンクリート塊、木くず、廃プラ等の発生で、再資源化率は100.0%であった。	○
	②残余材が発生したら、持帰り分別保管(再利用の推進)		○
	③廃棄物の処理はできるだけリサイクル業者へ依頼する		○
・水資源使用量の削減	①定期的に漏水点検を行う (全蛇口を閉めてメーターの動きを確認する)	定期的な漏水点検を実施して節水の意識を持った結果、本社112%、木城は洗車等があった為94.9%となった。	○
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	①環境配慮型の建設機械を使用する	工事現場では、低騒音型機器・重機の使用等、騒音対策、及び振動や粉塵の発生を極力抑制するように施工している。又、出来る限りの工期短縮を図っているが、天候に左右される事が多い。	○
	②自主的に騒音・振動・粉塵対策を講じて施工する		○
	③創意工夫で工期短縮に取り組む		○
・地域貢献活動の実施	①事務所や現場周辺の定期的な清掃	現場事務所周辺は毎日始業前と終業後の清掃を実施している。又、橋の日で道路清掃活動や河川アダプト活動等3件の地域貢献活動に参加した。	○
	②地域貢献活動等への積極参加		○

## 6.次年度の目標と活動内容

取組項目	目標(2024年度)	活動内容
二酸化炭素排出量の削減	156,800 kg-CO2	省エネ・省資源活動の徹底
・電気使用量の削減	本社 13,223kWh 木城 7,011kWh	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯する ②空調の適温化〔冷房28℃程度、暖房22度程度〕 ③照明器具やエアコンフィルターの定期清掃
・ガソリン使用量の削減	全社 20,866 L	①エコドライブの徹底 (アイドリングストップ、急発進及び空ぶかし防止) ②現場への相乗りを推進する ③段取良い前準備で忘物をなくし、折返し運行の撲滅。
・軽油使用量の削減	全社 38,247 L	①重機類は始業前点検を実施する ②建設機器は使用しない時はこまめにエンジンをストップする ③ダンプトラックや重機はエコドライブを徹底する
・一般廃棄物最終処分量の削減	本社 378.7kg	①紙類は裏紙使用や両面、縮小、集約紙類を努める ②トナーカートリッジや用紙梱包箱などは納入業者に持ち帰ってもらう
・建設副産物の再資源化率の向上	95%以上	①資材発注時は仕様書を再チェックして在庫の確認を行い 残余材発生を抑制する ②残余材が発生したら、持帰り分別保管する(再利用の推進) ③廃棄物の処理はできるだけリサイクル業者へ依頼する
・水資源使用量の削減	本社 68.0m <sup>3</sup> 木城 157.6m <sup>3</sup>	①蛇口付近に「節水」シール等を貼付て意識向上を図る ②定期的に漏水点検を行う (全蛇口を閉めてメーターの動きを確認する)
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	該当する環境経営計画を順守する。	①環境配慮型の建設機械を使用する ②自主的に騒音・振動・粉塵対策を講じて施工する ③創意工夫で工期短縮に取り組む
・地域貢献活動の実施	3回以上/年	①事務所や現場周辺の定期的な清掃 ②アダプト活動等への積極参加

基本的にはこの活動を徹底するためにも、当初の環境経営計画を継続しますが、社会環境や会社の状況の変化などによっては、目標及び活動内容は変更する場合があります。又、他に効果的・効率的な活動が確認された場合は、随時取込んで試行します。

## 7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、建設業協会からの情報やWebからの情報検索等で常に最新情報等を把握して、法規制一覧としてまとめて3ヶ月毎に順守状況を確認しています。尚、関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局からの指摘、及び地域住民からの訴訟も過去一度もありませんでした。

現場での遵守状況は、安全パトロールや安全会議時などでも確認しています

※当社の事業に係る主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。

法規名	遵守事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2,D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源使用	遵守
700排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施(重機搭載のエアコンを含む)	遵守
大気汚染防止法	・解体工事を実施する場合、石綿や700の有無を事前調査 ・調査結果を発注者に報告	該当工事なし
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	該当工事なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	該当工事なし

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目	
①環境経営目標達成状況と環境経営計画実施状況について	今年度は工事件数が少なかった事もありますが、全社員が環境を意識した活動を実施した結果、電気使用量がやや目標を上回りましたが、燃料使用量が大幅に減少して、全社の二酸化炭素排出量は112.9%の目標達成となりました。このように、工事の内容によって二酸化炭素排出量は影響されますが、これからも活動の中でムダは無いかな等を意識しながら環境活動に取り組んで頂きたい。
②環境関連法規制の遵守状況について	環境関連法規制に限らず、コンプライアンスは最重要事項として取り組む事。又、常に最新の法規制等の情報を把握して『知らなくて違反』が無いようにして下さい。
③外部からの環境に関する苦情や要望などについて	特に工事現場周辺の住民とはコミュニケーションを図る事。又、万一苦情などが発生したら、当該責任者の速やかな対応と事実の把握、及び内容によっては再発防止を図り、全社員に周知して下さい。
④推進体制について	推進体制は継続します。
⑤環境経営方針について	環境経営方針は継続します。